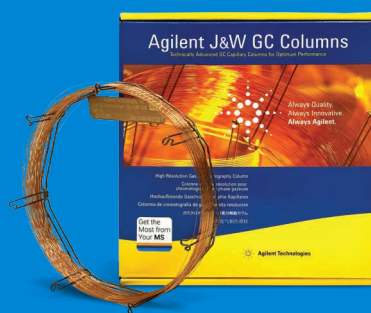


5 % フェニル系カラムの性能差を データで証明

新たな研究で裏付けられた
Agilent J&W HP-5Q GC カラムの
優れた GC/MS ワークフロー効率



Agilent J&W Q GC カラムファミリーが、超低ブリードの新たな業界標準を打ち立てます。
これにより、イオン源のクリーニングの頻度が低下し、データ品質と生産性が向上します。

ダウンストリームでの汚染を低減

カラムブリードはダウンストリームでの汚染の原因となり、時間の経過とともにイオン源の感度が低下して、イオン源を頻繁にクリーニングしなければならなくなります。図 1 は、各種 5 % フェニル系カラムの高温における汚染の影響を示しています。HP-5Q カラムの汚染が最も少ないことがわかります。

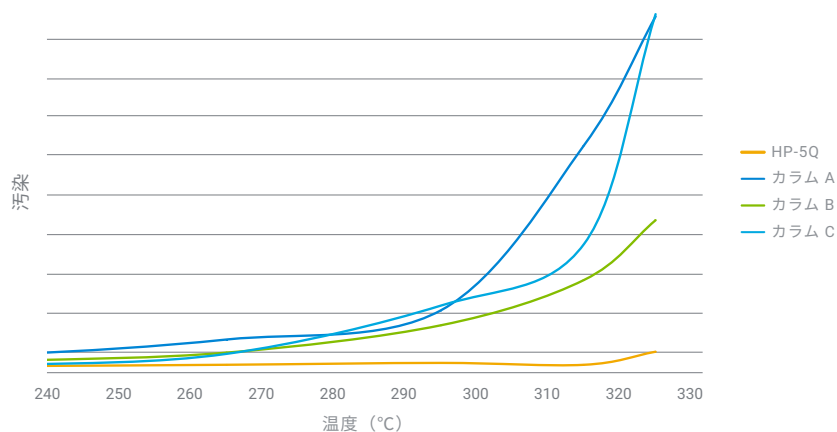


図 1

優れた熱安定性

熱安定性が優れていると、再現性の高いデータが得られ、生産性が向上します。図 2 のグラフは、広いオープン温度範囲におけるベースラインの平衡化時間を示しています。HP-5Q は、さまざまなオープン温度でベースライン安定までの時間が最も短いため、サイクル時間を短縮し、再分析を大幅に低減できます。

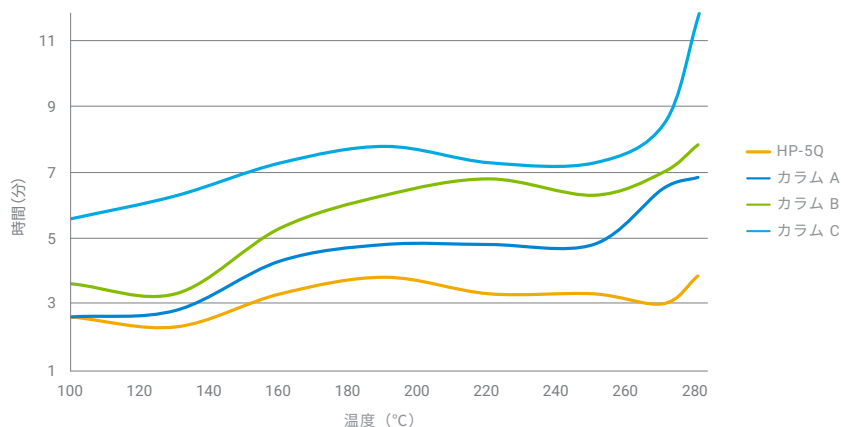


図 2

超高速コンディショニング

多大なリソースと長い時間を要するコンディショニングは、ラボの生産性と収益が低下する原因となります。図 3 のグラフは、325 °Cでコンディショニングした 4 種類の 5 % フェニル系カラムの比較を示しています。HP-5Q カラムは、コンディショニング時の平衡化時間が最も短く、サンプルスルーと生産性の向上を実現できます。

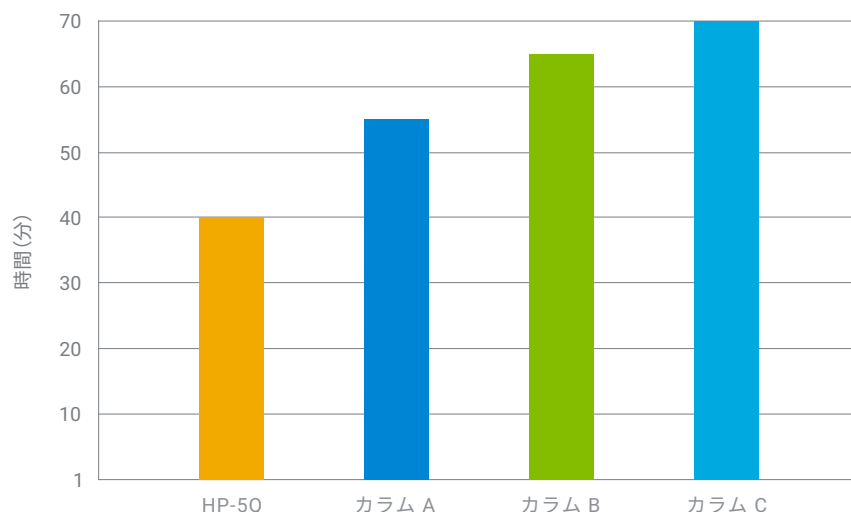


図 3

Agilent J&W 5Q カラムのオプションを詳しく見る [→](#)

GC/MS ワークフローの効率性カリキュレータについて詳しくは
アジレント担当者までお問い合わせください。

ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カスタマコンタクトセンタ

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、
医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。
本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに
変更されることがあります。

DE-010079

アジレント・テクノロジー株式会社

© Agilent Technologies, Inc. 2025

Printed in Japan, October 13, 2025

5994-8698JAJP